



1. 勇壮な霊山太鼓が会場に響き渡り、芸術祭の幕開けを盛り上げた / 2. 「文化芸術は心を豊かにし、生きる活力を与え、人と人を結びつける力がある」と伊達市開催を喜ぶ須田市長 / 3. 伊達市コーラスの仲間たちが「ヨイトマケの唄」伊達市オラトリオ「オン・ザ・ロード」を歌い、感動を届けた / 4. 「伊達市コーラスの仲間たち」の村上 亮 会長は「感染症対策をしながら、できることを一歩ずつ進めていきたい」とステージに立てた喜びを語った

「今こそ芸術文化の力を」

芸術・文化の振興と伝承を目的とした第60回記念福島県芸術祭の開幕式典・開幕行事が伊達市ふるさと会館MDDホールで開かれ、県北地区の6団体が演奏や踊りを披露しました。伊達市からは霊山太鼓保存会遠征組、伊達市コーラスの仲間たちの2組が出演し、素晴らしい音色を響かせ芸術祭の開幕に花を添えました。感染症対策のため無観客での開催となりましたが、芸術文化が持つ癒しの力と活力を感じさせる、荘厳な幕開けとなりました。

市長コラム



第37回 インターネットやSNSに挑戦しよう！

皆さん、インターネットを使用したことがありますか。また、SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）ってご存知ですか。

SNSとは、インターネットを介して同じSNSを利用している人とつながるサービス（ライン、ツイッターなど）のことをいいます。若い人にとっては当たり前でも、高齢になるとなかなか難しいと考える方もかもしれませんね。

ここで高齢に関する面白い研究を紹介します。一般的には年を取ると身体機能や認知機能が低下するといわれていますが、逆に日常の問題解決能力や言語能力は、経験や知識の習得に伴ってむしろ向上するとの結果が出たそうです。また、高齢者の身体年齢は昔と比べて10歳は若くなっているようで、これからもどんどん若返っていくそうです。ですから、インターネットやSNSだって始めから難しいと決めつけしないで、手にとって動かしてみるなど新しいことに挑戦してみてください。年とともに能力は向上

するので、やってみると意外と簡単だと感じるとおもいます。

さて、インターネットやSNSの良さは、①知りたい情報をすぐに入手できる ②新たなコミュニティ（共同体）を発見できる ③緊急時の情報交換ができるなど、いろいろな人とのコミュニケーションや知識の習得により暮らしに彩りを与え、新たな生きがいも見つけられることだと思います。一方で、不用意な投稿やネット通販などでトラブルを招いたりするリスクもありますので、生活の中でSNSなどをどのくらい取り入れるかバランスも大切になってきます。

今ある周囲とのつながりをより豊かにし、新たな出会いや発見ができるインターネットやSNS。現実の人のふれあいやコミュニティを大事にしながらも、自らの活動領域をさらに広げていくために、まだ使ったことのない方はぜひ一度試してみてください。

須田 博行